

2016年10月11日

スバル 本社ショールーム『SUBARU STAR SQUARE』で福祉車両を初展示

富士重工業は、本日10月11日より、本社1階ショールーム『SUBARU STAR SQUARE』（東京都渋谷区）で福祉車両を初めて展示します。

当社は「クルマのある自由で楽しい生活」をすべての人と分かち合うことを目指して、身体が不自由な方やご高齢の方にも安心して気持ちよくクルマにお乗り頂くために、福祉車両の開発・普及に努めています。

《展示車両》

「レヴォーグ 1.6GT EyeSight ウイングシート（助手席リフトタイプ）」

《スバルの福祉車両「トランスケア」》

◆ウイングシート(助手席リフトタイプ)

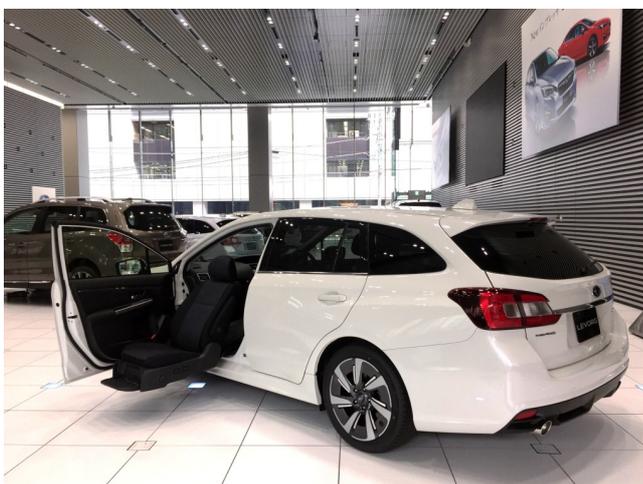
- ・簡単なスイッチ操作により助手席が電動で回転。シートの高さもお好みの位置まで昇降可能です。足腰の負担を軽く、快適な乗降を実現。サポートのしやすさにも配慮しています。また、電動モーターにより静かでスムーズな回転・昇降が可能です。
- ・車種：レガシィ アウトバック、レガシィ B4、レヴォーグ、インプレッサ、SUBARU XV、フォレスター、クロスオーバー7、ステラ

◆スロープタイプ

- ・横幅の狭い駐車場などにも嬉しいスロープタイプ。電動ウインチを採用し、車いすに乗ったままラクに乗降できます。頭上・足元ともにゆとりある室内設計に加え、車いす乗車の方の足元を温めるリヤヒーターを装備するなど移動中も快適。またターボエンジンの搭載により、坂道や4名乗車時でも力強い走りを実現しています。
- ・車種：ディアスワゴン

(スバル福祉車両 紹介サイト)

<http://www.subaru.jp/transcare/>



レヴォーグ 1.6GT ウイングシート(助手席リフトタイプ)